

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場会社名 株式会社サトー商会

上場取引所 東

コード番号 9996 URL <http://www.satoh-web.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝口 良靖

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 岡本 雄次郎

TEL 022-236-5600

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	10,907	△1.1	125	△51.2	176	△40.9	106	△60.4
25年3月期第1四半期	11,029	17.8	257	281.9	299	137.7	269	326.4

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 120百万円 (△52.7%) 25年3月期第1四半期 254百万円 (262.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	11.95	—
25年3月期第1四半期	30.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	28,455	18,384	64.6	2,056.04
25年3月期	27,788	18,371	66.1	2,054.58

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 18,384百万円 25年3月期 18,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,130	0.5	450	△18.1	560	△20.5	340	△34.4	38.02
通期	45,020	1.1	986	△10.4	1,220	△11.4	736	△22.2	82.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	9,152,640 株	25年3月期	9,152,640 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	211,103 株	25年3月期	211,103 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	8,941,537 株	25年3月期1Q	8,941,534 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済に持ち直しの動きが見られ、また、金融緩和や経済対策への期待感から円安の進行、株価の上昇が続き、消費者心理の改善により個人消費が増加するなど、景気は緩やかではありますが回復の兆しが見られました。

食品業界におきましては、景気回復による消費者マインドの改善が期待されるものの、低価格販売競争の継続や消費者の節約・低価格志向が依然として続いております。一方、原材料の価格高騰や電気料金の値上げの影響、消費税増税など、先行きに対する懸念は払拭されておらず、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと当社グループは、「業種別の市場占有率を高める」を年度方針に掲げ、お客様の立場に立った仕入体制、付加価値の高い商品開発を進めると共に、高い専門性を有した人財の育成に取り組んでおります。また、より一層の経営の効率化を図り、積極的な営業活動を展開してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高109億7百万円（前年同四半期比1.1%減）、営業利益1億25百万円（同51.2%減）、経常利益1億76百万円（同40.9%減）、四半期純利益は、1億6百万円（同60.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、東北各県及び栃木県エリアの新規得意先様の開拓、既存得意先様への更なる深耕の継続を行うと共に、業種別政策を強化するため業態別に専門性の高い提案会を実施してまいりました。また、得意先様のお役に立つため、消費者ニーズに対応した商品開発、メニュー開発、売場づくりのご提案、販売促進活動や調理技術の支援など、お客様と一緒に集客アップにも取り組んでまいりました。商品開発におきましては「J F S A」ブランドを中心とするオリジナル商品、東北各地域の原材料を使用した地産地消商品の開発など、同業他社との差別化戦略に重点を置いた商品の提供に努めました。また、新設営業所を始め売上が堅調に推移したことで、昨年度の大口取引先とのアライアンス解消による影響をほぼ吸収いたしました。急激な円安進行による原材料価格の高騰、新設営業所・災害対策強化など、先行投資により減価償却費を始めとした経費が増加いたしました。

この結果、売上高は95億73百万円（前年同四半期比1.1%減）、セグメント利益（営業利益）は1億89百万円（同35.0%減）となりました。

小売業部門におきましては、主要顧客であります中小飲食店業者様への提案強化として、ダイレクトメールによる「C&Cメンバーズインフォメーション」を発行し、お役に立つ情報の提供に努めてまいりました。また、居酒屋・弁当商材をテーマにしたメニュー提案や売場づくりも行い、業者会員様への売上は好調に推移いたしました。一般のお客様には「J F S A」ブランド商品の販売促進を行い、魅力ある業務用食品販売店として、専門的な商品の訴求を積極的に行ってまいりました。一方、急激な円安による仕入価格への影響、復興需要の収束から市場が沈静化するなかで、新設店舗の先行投資、効率的なシステムの全店舗導入を進めたことにより減価償却費を始めとした経費が増加いたしました。

この結果、売上高は13億33百万円（前年同四半期比0.8%減）、セグメント利益（営業利益）は52百万円（同41.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ6億67百万円増加し、284億55百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1億13百万円、有価証券が4億円、商品が46百万円、有形固定資産が77百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ6億54百万円増加し、100億71百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が5億10百万円、賞与引当金が1億72百万円それぞれ増加し、未払法人税等が1億46百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ12百万円増加し、183億84百万円となりました。これは主に、四半期純利益1億6百万円、剰余金の配当1億7百万円及びその他有価証券評価差額金13百万円の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は64.6%（前連結会計年度末66.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月10日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,774,770	1,902,222
受取手形及び売掛金	5,156,613	5,270,541
有価証券	7,500,000	7,900,000
商品	1,781,465	1,828,418
その他	557,968	445,238
貸倒引当金	△14,663	△10,767
流動資産合計	16,756,155	17,335,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,802,967	1,850,050
土地	3,994,426	3,994,426
その他(純額)	435,953	466,055
有形固定資産合計	6,233,347	6,310,531
無形固定資産	84,791	79,919
投資その他の資産		
投資有価証券	3,517,064	3,540,076
その他	1,214,992	1,222,460
貸倒引当金	△18,324	△33,313
投資その他の資産合計	4,713,732	4,729,224
固定資産合計	11,031,871	11,119,675
資産合計	27,788,026	28,455,328
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,508,081	8,018,957
短期借入金	580,000	580,000
未払法人税等	255,200	108,830
賞与引当金	251,797	423,983
その他	598,027	746,846
流動負債合計	9,193,106	9,878,617
固定負債		
退職給付引当金	15,730	16,947
役員退職慰労引当金	189,614	147,876
資産除去債務	5,785	5,811
その他	12,653	21,959
固定負債合計	223,783	192,594
負債合計	9,416,890	10,071,211

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,800	1,405,800
資本剰余金	1,441,717	1,441,717
利益剰余金	15,696,707	15,696,247
自己株式	△187,630	△187,630
株主資本合計	18,356,593	18,356,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,542	27,982
その他の包括利益累計額合計	14,542	27,982
純資産合計	18,371,136	18,384,117
負債純資産合計	27,788,026	28,455,328

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	11,029,589	10,907,754
売上原価	9,193,183	9,124,855
売上総利益	1,836,405	1,782,899
販売費及び一般管理費	1,579,067	1,657,381
営業利益	257,338	125,517
営業外収益		
受取利息	16,439	22,623
受取配当金	3,217	3,757
持分法による投資利益	8,105	10,010
受取賃貸料	13,327	13,282
その他	4,594	5,877
営業外収益合計	45,685	55,550
営業外費用		
支払利息	747	721
賃貸収入原価	3,121	3,478
その他	70	—
営業外費用合計	3,939	4,199
経常利益	299,083	176,868
特別利益		
補助金収入	134,660	—
その他	3,114	—
特別利益合計	137,774	—
特別損失		
固定資産除却損	151	1,737
特別損失合計	151	1,737
税金等調整前四半期純利益	436,707	175,130
法人税、住民税及び事業税	152,302	116,368
法人税等調整額	14,649	△48,076
法人税等合計	166,951	68,291
少数株主損益調整前四半期純利益	269,755	106,838
四半期純利益	269,755	106,838

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	269,755	106,838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,533	13,440
その他の包括利益合計	△15,533	13,440
四半期包括利益	254,221	120,279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,221	120,279
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	9,684,881	1,344,708	11,029,589	—	11,029,589
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,684,881	1,344,708	11,029,589	—	11,029,589
セグメント利益	291,904	89,691	381,595	△124,257	257,338

(注) 1. セグメント利益の調整額△124,257千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	9,573,868	1,333,886	10,907,754	—	10,907,754
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,573,868	1,333,886	10,907,754	—	10,907,754
セグメント利益	189,600	52,956	242,556	△117,038	125,517

(注) 1. セグメント利益の調整額△117,038千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。